

### 第三部 官庁訪問 体験記

このコーナーでは、経験しなければなかなか実体が掴めない官庁訪問の様子をお伝えします。後半に内定者の一問一答形式の質問も載せていますので、訪問前のイメージトレーニングには是非お役立てください。

なお、掲載している情報はあくまで H30年度官庁訪問における経験に基づき内定者の視点から語られたものであり、来年度以降の官庁訪問のシステムや内容は以下と異なる可能性があります。

#### － 環境省の官庁訪問（一般職試験）の簡単な流れ －

官庁訪問前

環境省にメールで訪問希望日を予約しました。

官庁訪問申込票を HP からダウンロードし、記入しておきました。記入は手書きでもパソコン入力でも、自身に都合の良い方でよいと思います。

↓

官庁訪問当日

指定された時間・会場に集合。昼休みを挟み、一日かけて複数回の面接を行いました。

#### － 環境省の官庁訪問（一般職試験）の面接 －

官庁訪問は1日かけて行われました。実施年度や個人による違いもあると思いますが、今年度は1対1、1対3の面接が複数回行われました。今年度は、グループディスカッションなどは行われませんでした。

1回の面接は平均して30分、内容は官庁訪問申込票に沿ったものやその掘り下げが多かったです。次の面接までの待ち時間は、面接官の仕事との兼ね合いもあり、1時間以上になることもありました。その間は、他の訪問者や官庁訪問担当の方と雑談をしたり、持ち込んだ資料やノートを読んだりと自由にできました。また、面接後に面接官からアドバイスをいただけることもあり、その場合はそのアドバイスを次の面接に活かせるように準備すると良いでしょう。

#### － 環境省の官庁訪問（一般職試験）の服装 －

官庁訪問は正式な採用選考であるため、リクルートスーツが一般的です。しかし、官庁訪問はクールビズ期間である夏に行われるため、ノージャケット・ノーネクタイの軽装で問題ありませんし、面接官も理解しているため、よほど乱れた服装でなければ軽装をとがめられることはありません。実際、当日はノージャケットの訪問者の方が多数派だったように思います。

－ 環境省の官庁訪問（一般職試験）の体験記(座談会) －

-----情報を手に入れづらい…。官庁訪問って実際どんな感じ？-----

※ 座談会形式のためフランクな文体ですがご容赦ください。※

【官庁訪問前に準備した事は何ですか？】

- かつお : 面接カード（官庁訪問申込票）の内容にはこだわった。  
ジョセフ : 志望動機とか、かな。  
かつお : 簡潔に言えるようにこだわった。  
K : ネタ探しするのに時間かけたし、環境問題についても調べたよ。  
ぶー : 皆さん、環境白書は読んだの？  
私は白書を読んで自分が入省したら何をしたいかをイメージしましたね。  
ジョセフ : 読んだー。  
K : 必要な箇所だけ読んだ。  
でも、環境問題を網羅的に理解できたと思う。  
ジョセフ : 同じく。  
気候変動のところが理解できたよ。  
かつお : かなり参考になりました。  
かつお : 環境省のパンフレットも参考になったよ。  
ぶー : 新聞の環境問題に関する記事も参考になったね。  
ジョセフ : 私は大学で環境の勉強をしていたので、志望動機はすぐできたよ。

【面接の印象はいかがでしたか？】

- K : 自分の知りたい仕事内容を詳しく教えてくれたかな。  
ジョセフ : 確かに。  
ジョセフ : 再エネとかの話聞けて良かった。  
かつお : そうだね。  
ぶー : それにしても、待ち時間は長かったねー。  
官庁訪問の日にちが私だけ違ったけど、皆はどうだった？  
ジョセフ : 1時間ぐらい間があった時もあったね。  
K : そうね。  
かつお : そうね。我々三人は官庁訪問の日が被る期間あったもんね。  
それに、先輩がついてくれていたのは心強かった。  
ジョセフ : 確かにー。  
環境の話しだったり、緊張ほぐしてくれたり、他にも多くの職員の方が話しかけてくれたね。

- かつお : 面接自体も面接官の方々と楽しく話せたからよかった。
- ぶー : うん、職員の方がこちらの緊張を少しほぐしてくれるような質問をしてくれて、ありがたかった。
- K : 面接の雰囲気はよかったね。  
緊張感のある面接、フランクな面接だったりバランスが良かった気がする。
- ジョセフ : 局長と話せたのは貴重な体験だった。
- かつお : 同感です。

**【入省するまでにしておきたい事は何か？】**

- かつお : outlook の勉強かな。  
既に入省しているジョセフから勧められたもん。
- ジョセフ : 俺はもう入省しているからなー
- K : バトミントンの練習かな。体力落ちてるからね。
- ジョセフ : (笑)
- かつお : 体力づくりですな。
- ジョセフ : 同じく。
- ぶー : 専門教科の軽い復習と英語学習。あと白書の読み込み。
- K : 流石です。その姿勢を見習いたいと思いますね。

**【将来の環境省について取り組みたいことは？】**

- ジョセフ : ペーパーレス化。
- かつお : AI を導入して定時に帰れるようにしたい。
- K : いろいろな視点をもって環境問題に取り組みたい。
- かつお : 自分自身が環境問題を解決する努力をする。
- ジョセフ : 国会議事堂内でもクールビズができるようにしたい。
- ぶー : 他省庁としっかり連携して環境を守りつつ、  
経済発展にも寄与できるようになればと。

いかがでしたか？以上の体験談はあくまで今年度の内定者の主観に基づくものです。  
官庁訪問には一人ひとり特別なストーリーが生まれるもの。もしこの冊子を見ていただいて、国家公務員に興味をもっていただけたのであれば、是非将来の選択肢の一つとしてご検討ください。